

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

オレンジリボン

缶バッジに気持ちを入める

8月、総社市から缶バッジ製作の依頼がきた。デザインはオレンジリボンとチユッピーだ。今回缶バッジのサイズも一回り小さい物もできるよう、新しいアタッシュメントも追加した。いつもより小さい缶バッジが、就労の皆さんは手慣れたもの。次々に形作っていた。今回はこの缶バッジとオレンジリボンの台紙を個別包装する作業も加わる。入れる向きや角度なども調整しながらいいものが完成した。

ところで、「オレンジリボン」皆さんはご存じだろうか？以下、NPO法人児童虐待防止全国ネットワークHPより引用

2004年、栃木県小山

市で3歳と4歳になる二人の可愛らしい兄弟が父親の友人から再三にわたって暴行を受け、息も絶え絶えの状態で、橋の上から川に投げ込まれて幼い命を奪われたという痛ましい事件をきっかけに、全国でオレンジリボン運動が始まりました。「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。オレンジリボン運動を通して

子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

トイレ掃除

新たな気付き

ここところ、所長は積極的に男子トイレの掃除をする。皆さんが帰宅された後、掃除に取り掛かる。改めて見えてきたことがある。1つは小便器の大きなのを外している事。もう1つは大便秘の便座が汚れていることがある事。

排泄は毎日の事。特に介助が必要な方にはスタッフが必要付き添い、適切に処理している。という事は、これまで自身で適切に排泄が出来ると思われていた方が

でも、何らかの要因でうまくできなかったことがあるという事だ。

皆さんの排泄の様子を逐一見ていくわけにはいかない。特に排便などは同席するわけにはいかない。当然ご本人の恥じらいもある。ただ、ご本人が衣類や手指が汚れて不快な思いをされる事は避けたい。

普段から身なりや手先を見て、そんなことが無いかどうかを判断していかなければならない。失敗は恥ずかしいことではないが他人には伝えたくないもの。この気持ちも大切に汲み取りながら、取組んでみたい。

ちよつと一息

令和のお盆

令和初のお盆休み。皆さんはどのように過ごされたでしょうか？一年を通して、多くの人にはかなりの長期休みとなる。帰省、旅行等々、様々だったことでしょう。

本来お盆とは、亡くな

った家族やご先祖様の精霊（しよりう）をお迎えし供養をする、という事だ。

所長の実家は田舎の古い家。昔からの風習はいくらか簡素化されたとは言え、欠かす事は無い。お盆も小さいころから何気なく準備やお看経を

していた。今に至っても何ら変わりはない。

最近、実家の両親はこ

ういった習わしの支度は所長に積極的にやらせてくる。世代の交代を感じるとともに、実家のしきたりを絶やすことなく後世に伝える義務を感じる。そしてご先祖様あつての今の自分である事に改めて気づき、感謝した。